



大阪医学統計学セミナー 第47回

Osaka Biostatistics Seminar

8月5日 (金)
16:00~17:30

「効果指標の修飾が因果効果推定に与える影響の評価」

講演者：岡村 知美 (未来医療開発部)



場所：
オンライン開催
医学系研究科基礎研究棟L階
医学統計学研究室

参加ご希望の方は、前日までに下記問い合わせ先にメールにてお申込みください。

概要：近年、観察研究において交絡によるバイアスを調整するために、傾向スコアに基づく重みづけの方法の1つとしてoverlap weighting (OW法) が提案された。OW法は、従来広く知られている平均曝露効果を標榜したinverse probability weighting (IPW法) とは異なる重みを用いることにより、臨床的によく比較される症例を中心とした集団の効果を標榜し、一部の対象者に過度な重みがかかるというIPW法の問題を回避しやすい方法となっている。さらに、効果指標の修飾が存在するとIPW法とOW法は異なる挙動を与える。

本発表では、効果指標の修飾の存在下でOW法を用いたシミュレーション結果を報告し、効果指標の修飾が推定に与える影響を議論する。

お問い合わせ：大阪大学大学院医学系研究科 医学統計学講座
E-Mail : office@biostat.med.osaka-u.ac.jp TEL : 06-6879-3301